

SHW425. ワーキングウエスタンルール。 ワーキングウエスタンルールとは、ワーキングホースの柔軟な対応力や態度、動きなどに反映される乗馬の快適さを判定するクラスである。馬はよく調教され、全歩様においてリラックスし鎮静してソフトでケイデンスを踏んでいる事。ワーキングウエスタンルールの馬の動きは、長距離歩行する馬と似てソフトで静かである。馬の全体的なマナーや反応の機敏さ、動作の質が主な判断基準である。自然で流れるようなストライドと、安定した伸長歩様を持つ馬に最大の評価が与えられる。リクエストに沿ってスムーズかつ機敏に歩様の移行を行う事。ワーキングウエスタンルールの馬は各歩様において自然な頭部の運びが理想である。比較的ルーズな手綱で、不要な拘束を必要とする事なく軽いコンタクトでライダーに機敏に反応し、スムーズで正確な歩様の移行を適切に行える事。馬は銜に対しソフトでコンタクトに譲りを示し、手綱は完全に弛んでいる状態ではない事。ライダーは既定の歩様の伸長に応じ、適切なスペースを取る事。本クラスでは、前進氣勢があり仕事に適したペースで、尚且つライダーの手の内に収まり仕事をこなす馬の能力を審査される。馬はグループの中でもバランスが取れ、意欲的で乗馬に快適な様子である事。

SHW425.1 3歳以上の馬対象。ジュニア、シニア、全年齢オープン部門、およびユース部門全年齢クラス、セレクトまたは全年齢アマチュア部門のクラスがある。

SHW425.2 馬は部門に関わらず、同じ大会のウエスタンプレジャーまたはウォーク／トロットウエスタンプレジャーとワーキングウエスタンルールクラスにクロスエントリーしてはならない。(ユース、アマチュアまたはオープン)

SHW426. クラス要項

SHW426.1 全出場者でグループワークを行う。ルールを外れた個人はペナルティを科されない、追い越し可。

SHW426.2 馬はウォーク、トロット、ロープでリングの両方向を走行する事。馬は最低でもどちらかの手前でエクステンドトロットとエクステンドロープをする事。ジャッジの判断により、ウォークで歩幅の伸長を指示する事も可。

SHW426.3 全体的なケイデンスと歩様のパフォーマンスは、SHW334 歩様に詳細の通りだが、特に前進氣勢のある、流れるようで距離を走れる動きを強調したものである事。

SHW426.4 エクステンドトロット／ロープでは、ライダーはポスティングまたは鐙に立つ事も可とする。

SHW426.5 いずれの歩様でもエクステンド中はサドルホーンに触れる・掴まる事を可とする。

SHW426.6 馬は内方に向かってリバースする事(ルールから離れる)。ジャッジの判断により、ウォークまたはトロットでのリバースを行う場合があるが、ロープ中のリバースは行わない事。

SHW426.7 馬は容易にバックし、静かに立っていられる事。中央に連れてきても、ルールでバックしてもよい。

SHW426.8 ジャッジが馬装をチェックしたいと要望している場合を除き、ライダーに下馬を要求しない事。

SHW427. ワーキングウエスタンルールの服装および馬装

SHW427.1 フーフポリッシュおよびフーフブラックの使用禁止。

SHW427.2 たてがみ・尾のブレイドやバンドおよびテールエクステ禁止。

SHW427.3 耳の中の毛のトリミングは推奨しない。

SHW427.4 ブライドルパスのトリミング、球節や顔の過度な長毛のトリミングは可。

SHW427.5 銀装飾を施した馬具よりも機能的な作業着を重視する。頭絡や鞍への過度な銀装飾は推奨されない。

SHW427.6 胸がいとリアシンチの使用を推奨する。

SHW427.7 スナッフビットまたはハックモアで出場する場合、ライダーは手綱を両手・片手いずれの持ち方にいつ変えてもよい。

SHW427.7.1 両手の使用(スナッフビット／ハックモアで出場するジュニア馬を除く)、スプリット手綱の間に一本以上指を入れるまたは口マル手綱の間に指を入れる(二本手綱の場合を除く)、これらは失格対象。

SHW428. 以下過失の程度で減点する。

遅すぎる(全歩様)

過剰なスピード(全歩様)

巻き込み過ぎ

頭位が低すぎて、鬃^{きこ}甲よりも項^{うなじ}の位置が低い

体躯の伸び過ぎ

歩様の中断

反对手前・不正手前

指示通りの歩様を、適宜発進出来ない

過剰に口を割る

たるんだ手綱

シンチより前で拍車を使用する

傾いたロープ

明白な反抗(蹴る、噛む、尻っ跳ねる、立つ、等)

SHW429. 失格となる過失:頭位が低すぎ(同時に・または)走行中に継続して過剰に巻き込んでいる、またはその他威嚇的な外観が見て取れる。